

兵庫県姫路市でのヨツモンエグリゴモクムシの記録

檀野将平

ヨツモンエグリゴモクムシ *Amblystomus quadriguttatus* (Motschulsky, 1858) は India を原産とする南方系のゴミムシである。国内では南西諸島から徐々に分布の拡大が確認されており、本州では広島県 (藤本・大塚・辻, 2015) 及び山口県 (田中, 2005) の記録がある。

筆者は、記録のなかった兵庫県において本種を採集しているため報告する。

【採集記録】

1ex., 兵庫県姫路市北原, 10.IX.2021, 灯火, 筆者採集



図 兵庫産ヨツモンエグリゴモクムシ。

耕作地に隣接する自宅庭に設置した灯火 (18 時に設置, 21 時に確認) により得られた。9 月前半の姫路市は雨の日が多く, 当日も 21 時時点で気温 25.2℃, 湿度 79% と蒸し暑い夜であり, 本種の活動に好条件な日であった。また, 本種は低地のかく乱時期に得られることが多く, 北原地区では近年, 耕作地から宅地への転換が進んでいることも本種の出現と関係していると思われる。

なお, 自宅庭の灯火では良好な湿地環境を好むとされる甲虫類も多く確認されており, 本種の記録を手放しで喜んでいいものかは考えものである。

最後に, 文献・記録についてご教授いただいた森正人氏に厚く御礼申し上げる。

○参考文献

藤本博文・大塚健之・辻 尚道, 2015. 西日本における

ヨツモンエグリゴモクムシの採集記録. 月刊むし (532):33-34

森 正人, 2015. 兵庫県のゴモクムシ類 (1). きべりはむし, 38(1):13-19

田中 馨, 2005. 山口県の甲虫類分布資料 (2004 年). 山口のむし, (4):56.

上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (II). 141pp. 保育社

(Shohei DANNŌ 兵庫県姫路市)

神戸市内から記録されたハムシ科移入種 2 種

吉田浩史

筆者は 2021 年に, これまで神戸市内から確認されていなかったハムシ科の移入種 2 種を採集したので, ここに報告する。

データ

甲虫目 ハムシ科

クズクビボソハムシ *Lema diversipes* Pic, 1921

1ex. (写真 1), 神戸市東灘区魚崎南町, 瀬戸公園, alt. 3m, 10. IX. 2021, 吉田浩史.

本種は本来中国及び台湾に分布する, クズを食草とする種である。国内では 2016 年に東京都港区からはじめて記録された (南・上田, 2018)。

筆者は, 神戸市東灘区の都市公園において, 下草のスウィーピング中に本種 1 個体を確認した。確認場所周辺にはクズは見られず, 移動中と考えられた。

インターネットの情報によると, 2021 年現在東京都では分布を拡大しているが, 国内のそれ以外の地域では記録がないようである。また, 周辺には海外から多くの貨物が運び込まれている神戸港があり, ヒアリをはじめ多くの外来種が記録されている。このため, 今回の神戸市からの記録は東京都の個体群とは別に海外から侵入した可能性がある。

なお, 写真 1 に示した通り, 本種は一見して別亜科で普通種のウリハムシに似ており, 見落とされている可能性もある。食草は河川敷や農耕地周辺に普通で都市部でも見られるクズであり, 今後兵庫県周辺でも急速に分布を拡大する可能性があり, 注意が必要と考えられる。

ヨツモンカメノコハムシ *Lacoptera nepalensis* Boheman, 1855

1ex. (写真 2), 神戸市東灘区魚崎南町, 内浜公園, alt. 1m, 26. XI. 2021, 吉田浩史.



写真1 クズクビボソハムシ.

(Hiroshi YOSHIDA 神戸市東灘区)



写真2 ヨツモンカメノコハムシ.

本種は国内では南西諸島に分布するとされていたが、その後本州・九州へと分布を拡大している種である。食草はサツマイモやアサガオ類などヒルガオ科植物である(重藤ら, 2020)。

兵庫県からは、2020年に伊丹市及び西宮市からはじめて記録された(篠原・長島, 2020)。その後、神戸市をはじめ県内数か所で調査が行われたが、本種は確認されなかった(初宿, 2021)。

今回は、都市公園内の花壇に植栽されているアサガオ類の葉裏から1個体を確認した。神戸市から初記録と思われる。

謝辞

大阪市立自然史博物館の初宿成彦学芸員にはクズクビボソハムシの分布情報についてご教示頂いた。池内健氏には文献入手の際にお世話になった。ここに厚くお礼申し上げる。

○参考・引用文献

南雅之・上田衛門, 2018. 日本初記録の外来種クズクビボソハムシ(新称)における知見. 月刊むし, (568): 23-25.

重藤裕彬・末長晴輝・南雅之・渡部晃平, 2020. ヨツモンカメノコハムシの分布記録および日本国内, 特に

琉球列島における分布の現状. ホシザキグリーン財団研究報告, (23): 227-243.

篠原忠・長島聖大, 2020. 兵庫県におけるヨツモンカメノコハムシの記録. きべりはむし, 43(2): 60.

初宿成彦, 2021. 大阪市立自然史博物館・外来生物調査プロジェクト(Project A)によるムネアカオオクロテントウ・ユーカーリハムシ・ヨツモンカメノコハムシの市民調査報告. 大阪市立自然史博物館研究報告, (75): 53-77.